

従業員の安全と健康確保に関する基本方針

小野建株式会社およびグループ会社（以下、「当社グループ」といいます）は、従業員の安全と健康の確保こそが企業活動の最重要基盤であると認識しています。従業員一人ひとりが心身ともに健やかで、安心して働ける職場を提供することは、企業の持続的発展と社会的責任を果たす上で欠かせない条件です。そのため当社グループは、安全衛生に関する取り組みを経営の中心課題として位置づけ、「心身の健康第一・安全第一」の姿勢で事業を展開していきます。

1. 基本姿勢

（1）安全最優先

「安全はすべてに優先する」という理念のもと、業務遂行上どんな場合も従業員の生命と安全を第一に考えます。

（2）法令・規範の遵守

職場の労働安全衛生に関する法令や社内規程を確実に遵守し、健全な職場環境の維持に努めます。常にコンプライアンスを徹底し、安全に関わる社内ルールを厳守します。

2. 重点的な取り組み

（1）労働災害の防止

職場の危険源の除去・低減に取り組み、事故や災害ゼロを目指します。作業手順の遵守・設備点検の徹底などにより、負傷や職業病を未然に防止します。

（2）教育と安全文化の醸成

定期的な安全衛生教育・訓練の実施により、全従業員の安全意識向上を図ります。また、「安全第一」の考えを共有する社内コミュニケーションを活発化し、全員参加の安全文化を築きます。

（3）従業員の健康増進

定期健康診断の全員受診推進やメンタルヘルス対策の充実など、社員の心身の健康保持・増進を積極的に支援します。ワークライフバランスの改善やメンタルヘルス相談窓口の設置などにより、健康経営を推進します。

（4）開かれた安全風土

職場の安全衛生に関する対話と情報共有を重視し、従業員からのヒヤリハット報告や改善提案を受け入れる風土を育てます。これにより、早期に潜在的リスクを把握・対処し、継続的な安全性向上につなげます。

3. 体制・責任

（1）安全衛生委員会の設置

当社グループは、労働安全衛生法に基づき「安全衛生委員会」を設置し、従業員代表と経営側が一体となって職場環境の維持・改善に取り組んでいます。委員会は月次で職場の安全衛生状況を審議し、必要な対策を検討・実行します。

(2) 経営トップの関与

経営層は安全衛生の取り組みを牽引します。安全衛生に関する報告は安全・品質管理室が取りまとめ定期的に取り締役会等で審議され、経営陣が監督責任を負う体制を取っています。また、安全衛生管理責任者を配置し、全社的な安全衛生活動を統括しています。

4. 継続的改善

当社グループは、安全衛生管理活動の継続的な改善に努め、必要に応じて方針・対策を更新します。安全衛生に関する取り組み状況は社内外に定期的の開示し、ステークホルダーとの対話・協力を通じて更なる向上を図ります。これらの活動を通じて、全ての従業員が心身ともに健やかで安心して働ける職場を実現し、「心身の健康第一・安全第一」を重視する風土の確立を目指します。